Rotary International 2022-23 会長 ジェニファー・ジョーンズ（カナダ）	国際ロータリー第２６７０地区 ガバナー 八田 光 （高松北RC）
テーマ ＩＭＡＧＩＮＥ ＲＯＴＡＲＹ 『想像しよう ロータリー』	＜第４８年度＞ **丸亀東ロータリークラブ** 会長 納田美由紀 幹事 中 哲生

2023年１月３１日(火)

2022-2023年度 第４８年度 第２７回 通算第2263回例会

【会長報告】 納田美由紀会長

◆ 丸亀ロータリークラブ創立６０周年記念事業「１０周年の幸福写真」写真展が２月３日(金)２月４日(土)マルタス多目的ホールにて開催されます。
＊２月４日(土)14時より記念講演も開催されます。

【幹事報告】 中 哲生 幹事

◆ ロータリーの友２月号と抜翠のつづりを配布しております。

◆ 前回例会終了後、１月理事会を開催しました。

① １月・２月・３月プログラムの件 ・・・ 承認
（別紙 プログラム予定表を配布）

② 丸亀東RC杯少年剣道大会 開催の有無の件 ・・・ 承認
青少年奉仕委員長の秋山等さんより説明。
４月９日(日)予定の剣道大会は「**中止**」とします。
＊2020年より４年連続の中止となります。

③ 「おもてなし遍路道ウオーク」の件 ・・・ 承認
２月２１日(火)の例会変更として２月２３日(祝)実施（参加）する。
＊実施時間、内容等は検討する。社会奉仕委員会の塩田委員長に任せる。

④ コロナ禍で御香典をお渡し出来ていない方への対応について ・・・ 承認
クラブの慶弔規定通り、御香典をお渡しする。（別紙 慶弔規定のお知らせを配布）

【委員会報告】 社会奉仕委員会（塩田 寿 委員長）

◆ 「おもてなし遍路道ウオーク」の案内文を配布しております。
2月21日(火)の変更で2月23日(祝木)「おもてなし遍路道ウオーク」に参加します。
集合場所、到着場所等の詳細は後日お知らせします。
2月14日(火)例会日までに出欠返答をお願いします。

【プログラム】★客 話（出席委員会）三谷 大 委員

【株式会社 ヨンプラス 代表取締役／ｱｰﾄﾃﾞｨﾚｸﾀｰ 橋口 剛志 様】
2001年アトリエ「GALLERY OUCHI」を開設し、イラストレーターとして活動開始。ボードゲーム制作も手掛け、2018年には本場ドイツの展示会に出展し、オファーを受けた海外の名門レーベルと契約。
作品は「5211」として発表され、日本に加えてドイツ、フランス、英国スペイン、イタリアなど１０カ国以上の国で販売されているほか、世界的

な人気ゲーム「AZUL」とのコラボパッケージ版も発売。東京都出身。

【株式会社 ヨンプラス　取締役／ﾒﾃﾞｨｱ戦略ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ　井上　学 様】

2003年早稲田大学第一文学部卒業。2004年高知新聞社に報道記者として入社後、社会部、地域報道部、運動部、政経部、編集部などを経て2018年から高松支局長として四国内外で取材活動に従事し、2021年に退社。事件事故、教育、スポーツ、芸術文化、政治経済など多方面の取材経験を活かし、企業や各種団体の広報・PR支援を担う。
高知県出身。

【あなたとともに四国を造る】

ヨンプラスが描く未来ー。
四国に暮らす私たちが手を取り合い、地域の魅力を掘り起こし、ブランドに磨き上げ、世界に発信する。
そして、都会に出た若者が故郷に帰って誇りを持って働き、お年寄りも子どもたちも笑いながら暮らせる、そんな自立した四国です。

【企業や地域の魅力を掘り起こし「四国のブランド」に高めます】

【事業内容】

■ 広報・ＰＲ支援事業
　メディア戦略コンサルティング、商品・サービス企画
　広報・ＰＲ人材育成、オウンドメディア構築・運営
■ クリエイティブ事業
　商品企画・開発、ホームページ制作、イベント企画・運営
　店舗デザイン、ボードゲーム制作、コンテンツ企画制作
■ 飲食事業
　カフェバー＆コワーキングスペース
　「オルタナティブ・ファクトリー」運営

「宣伝・広告にジャーナリズムを」

～報道のノウハウで企業情報をニュースに高める～

これまで企業にとって新聞広告やテレビＣＭは、宣伝・広告の代表的な手段でした。それが、情報通信技術の目覚ましい進化により、主戦場はインターネット空間へと移りました。広告枠があるマスメディアとは異なり、情報の大海であるネット上には数え切れない広告が溢れています。宣伝合戦はエスカレートし、扇情的で過剰な情報の波にもまれる生活者から、企業が広告を選び取られることは容易ではなくなりました。
そんな中、企業の宣伝活動に大きな変化が生まれています。「宣伝・広告＋ジャーナリズム」とも呼ぶべき取り組みが活発化しているのです。宣伝活動に報道のノウハウを取り込み、自社の情報をニュースとして主体的に発信することで既存の広告と差別化を図っています。発信する情報に客観的なデータを用いて信頼性を高めたり、製品開発などの裏にある物語を紹介したりすることで、ファンを増やし、企業の社会的価値を高めています。

～企業のメディア化を推進～

私たち「株式会社ヨンプラス」も、企業自身がメディアとしてニュースを発信し社会的価値を高めることのできる「**企業のメディア化**」を推進しています。企業の広報人材育成から広報部門の立ち上げ、自社メディアの設立・運営、情報コンテンツ制作まで、情報発信に関する業務を総合的に支援しています。中でも弊社の強みは報道のノウハウを生かした社内記者の養成とコンテンツ制作です。

～元新聞記者がトレーニング～

元新聞記者が報道現場での長年の経験を基に広報担当者への記者トレーニングを行い、プレスリリースの書き方やメディアへのアプローチ、取材時の受け答え、オウンドメディアの構築・運営などのノウハウをきめ細かく教えます。また、マスメディアへ情報提供して取材を呼び込むだけでなく、自社の情報をニュースとして主体的にオウンドメディアやＳＮＳなどで発信しる「**社内記者**」としても育成します。

～トラブル時の危機管理広報にも対応～

近年、企業広報で重要性が高まっているのがトラブル発生時の対応です。取材対応の失敗や不用意な発言などで社会的信用を失ってしまうケースは、近年も枚挙に暇がありません。弊社では、事件や不祥事の報道に従事してきた担当者が、トラブル発生時のダメージを最小限に留めるため迅速かつ適切に対応する「**危機管理広報**」をサポートしています。

～弊社の取組事例～

株式会社ヨンプラスは、香川県内外のさまざまなクライアント企業様に対し、情報発信に関する様々なサポートを行っています。

―事例１：大手製紙メーカーＭ社―

新聞用紙や出版用紙などを扱う大手製紙会社のＭ社では、広報部門の立ち上げを支援し、広報担当者の育成と情報発信の支援に取り組んでいます。年間を通した広報計画に基づき、メディアに発信すべき情報を洗い出した上で発表時期の調整からプレスリリース等の内容の指導などを実施。また、一般消費者をターゲットにした衛生用紙の新ブランド立ち上げに伴い、自社メディアでの情報発信や取材対応などを支援しています。

―事例２：手袋専門メーカーＳ社―

米国のブランド売上ランキング・スノーグローブ専門店部門１位を８年連続で達成し、オリンピック選手への製品を提供するなど欧米でも高い評価を受ける老舗手袋製造企業では、スノーグローブ以外の分野への商品展開や独自の技術を活用したバッグ事業を推進するための広報・ＰＲのほか、ＳＤＧｓへの取り組みや企業の魅力発信のための情報コンテンツの制作支援、広報担当者の育成などに携わっています。

―事例３：産業用・医療用ガス製造販売Ｔ社―

産業用・医療用ガスの製造販売を手がけるＴ社は、今後３０年を見据えた長期経営計画で地域共創・共生プロジェクトを打ち出し、高校で社員が理科の出前授業を行うなど積極的に地域と関わりながらＣＳＲ活動を進める中、新たに広報・ＰＲ戦略を担うチームを設立。弊社は情報発信に関わる顧問としてチームをサポートしています。

～弊社のプロジェクト事例～

―中学生と共に丸亀市をまるごとボードゲームに―

弊社代表のボードゲーム作家・橋口剛志が、香川県丸亀市の市民交流活動センター「マルタス」と共に、丸亀市の街をテーマにしたボードゲームの制作に取り組みま

した。同市内の大手前丸亀中学校とも連携し、子どもたちが地域の魅力を学ぶ教育活動の一環として生徒たちとフィールドワークしながら街の魅力を掘り起こして素材を集めたり、ボードゲームをテーマにした出前授業を行ったりしながら制作を進めました。
「マルタス」はレンタル大手TSUTAYAを展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブ（ＣＣＣ）が指定管理者を務める複合施設で、2021年3月22日にオープン。約７千冊の本がそろう館内にはコーヒーチェーン大手「スターバックス」も入居しブックカフェ感覚で思い思いに読書を楽しめるほか、ボランティアなど市民活動のための相談窓口、貸し会議室、学習スペースなども備え、１日平均で２千人超を集める人気施設となっています。ボードゲーム制作は、マルタスが「新しいプロジェクトの大きな柱」として企画。
昨年3月9日に同施設で開かれた開館１周年の記者会見で「丸亀まるっと！ボードゲーム化プロジェクト」として発表しました。
ボードゲームは昨年11月21日にマルタスで完成披露の記者発表会を開催し、橋口剛志と生徒たちが報道陣に作品の魅力を紹介しました。タイトルは丸亀市をもじった「ＭＡＲＵ ＧＡＭＥ ＴＯＷＮ」（マルゲームタウン）。完成したマルゲームタウンは、市内の実際にある商店街や通りを舞台にしたスゴロク形式のゲーム。コインを集めて店を開いて人を呼び込み、家やマンション、ランドマークを建てて賑わいを生み出しながら、シャッター街になっている商店街の再興や街づくりをゲーム上で体感できる内容です。
記者発表会では、代表の生徒10人が制作の様子やルールを紹介。制作過程では生徒たちが実際に商店街を訪れて取材し、名所を絵にするなどデザインも手掛けました。会見を終えた生徒たちは「町の新しい魅力を発見できた」「丸亀市をもっと明るくしていきたい」「ゲームを通して丸亀市に魅力を持ってほしい」と、地域への理解と愛着を深めた様子でした。
ゲームはマルタスのホームページから無料でダウンロードして遊べるようにするほか、弊社の拠点である「オルタナティブ・ファクトリー」（高松市亀井町）でも体験できます。本年度も、完成したゲームを全国に発信するためのさらなる仕掛けを行っていきます。

～日本陸上界のレジェンド・福士加代子さんと共にＲＵＮプロジェクト「笑って走れば福来たる駅伝ＩＮ香川」を企画～

４大会連続でオリンピックに出場、世界選手権女子マラソンで銅メダルを獲得するなど数々の偉業を成し遂げ、今年１月の大阪ハーフマラソンを最後に現役引退した日本陸上界のレジェンド・福士加代子さんが、陸上人生の第二幕として「走り」と「笑顔」をテーマとした様々な活動を通し、「地球を走って笑って元気にするチャレンジ」に取り組む「福士加代子ＲＵＮプロジェクト」を始動。その第１弾として2023年4月1日、香川県高松市で自身初企画となるランイベント「笑って走れば福来たる駅伝ｉｎ香川」を開催します。弊社「株式会社ヨンプラス」は「福士加代子ＲＵＮプロジェクト」事務局として、大会の成功を目指しています。
2022年11月に高松市内での発表記者会見に臨んだ福士さんは、引退後もさまざまな大会にゲストランナーとして参加する中、ファンから今後の活動に期待の声を掛けられることも多かったと語り、「走ることの楽しさを、もっと多くの人に知ってほしい」と、「地球を走って笑って元気にする」チャレンジを掲げる「福士加代子

ＲＵＮプロジェクト」を立ち上げた経緯を説明しました。
「笑福駅伝」はプロジェクトの第１弾として福士さん自身が企画。その舞台としてジュニア3000メートルの日本記録をマークし、ハーフマラソンのアジア記録を樹立するなど思い入れの深い地であり、支援者との心温まる交流を通して「第三の故郷」と呼ぶほど縁が深まった香川県を選んだことを説明し、「参加者がとにかく１回は笑って元気になるようなお祭りのような大会にしたい」と力を込めました。
「笑って走れば福来たる駅伝ｉｎ香川」は2023年4月1日(土)に屋島レグザムフィールド特設コースにて開催。1.8km×８区間。小学生以上の男女であれば誰でも参加可能。参加可能人数は2～8人。一人で男区間を走ってもOK。
エントリーは先着100チーム募集。

【本日のニコニコ】

- (株)ヨンプラス　代表取締役・橋口様と取締役・井上様をお迎えして
  客話を拝聴して。ありがとうございました。　：伊賀 重夫　出席委員長
- 〃　：三谷　大　出席委員
- 〃　：納田美由紀会長
- 〃　：　中　哲生　幹事
- 役員委員長半期報告を無事終えて　：田中　誠　副会長
- 〃　：　中　哲生　幹事
- 〃　理事（会員増強）　：黒木 五朗　様

【来訪ロータリアン】【メークアップ】（なし）

【出席報告】

第２２６３回例会　＜１月３１日(火)現在＞

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
４１名	２名	３９名	３４名	５名	87.18%

第２２６１回例会　<1月17日合同新年例会分>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
４１名	２名	３９名	３４名	５名	87.18%

【２月７日(火)の例会】　会員卓話（会員増強・維持・退会防止委員会）黒木五朗委員長

【２月１４日(火)の例会】　会計報告（神原 太一 会計）

～四つのテスト～　１．真実かどうか　３．好意と友情を深めるか
言行はこれに照らしてから　２．みんなに公平か　４．みんなのためになるかどうか

MARUGAME EAST ROTARY CLUB
例会場　オークラホテル丸亀　☎23-2222
〒763-0011　丸亀市富士見町3-3-50
事務所　オークラホテル丸亀４３０号室
TEL；0877-21-6611　FAX：0877-21-6655
URL；http://www.marugame-east-rc.com
例会日　毎週火曜日　PM12:30~PM1:30
E-Mail；merc@soleil.ocn.ne.jp